

下関市立大学附属リカレント教育センターが提供する
『地域創生マネジメント専門家養成プログラム』

1 特別の課程の名称

地域創生マネジメント専門家養成プログラム

2 プログラムの目的

積極的な社会貢献を促進するため、大学が培う経営学的観点、データ処理・分析及び地域医療・看護支援の研究成果等を活かし、地域社会の中心的な構成員（社会人）が地域創生の力を持てるよう、講義を通して地域内の課題解決に取り組むことで地域社会に貢献する人材の育成を目指します。

3 4つのコースの特徴と内容

I. 子ども才能マネジメント専門家養成コース

主に教育現場でキャリアアップや専門性向上を求める現職教員の方や、教育現場への復職（教員や支援員等）を希望する過去に教職経験がある方、教育関係の就職を希望している方を対象にして、インクルーシブ教育の観点から子どもの特徴と義務教育課程における教育的ニーズを科学的に把握し、適切に対応するための指導プランを作成する専門家に必要な知識・技能を育成するコースです。

『基礎科目群』	
乳幼児教育基礎科目群	
I-基 1	乳幼児教育概論（全15講義）
I-基 2	乳幼児教育の環境設計/コミュニケーション（全15講義）
I-基 3	乳幼児教育ツール分析演習（全10講義）

II. 旅館マネジメント専門家養成コース

主に、旅館や接客について体系立てた学びを活かしたいと希望する旅館やホテルの現場で働いている方、接客やそのマネジメントについて知りたいといったサービス業に従事している方を対象にして、旅館やホテルの宿泊業に関する基礎だけでなく、これからの社会を見据えた組織マネジメントやサービスのマネジメントのために必要な知識や技能を育成するコースです。

『基礎科目群』	
旅館マネジメント基礎科目群	
II-基 1	旅館学概論（全15講義）
II-基 2	旅館サービスマネジメント概論（全15講義）
II-基 3	旅館マネジメント実務（全10講義）

III. しろのせき地域DX人材育成リスキリングコース

データ処理・分析を担うことのできる人材、DX化の支援を行うことのできる人材を育成し、地域企業の抱えるDX課題に対応することで、地域のDX力向上を目指します。

座学講義に加え、演習や実際の企業のDX課題を取り上げるPBLを盛り込むなど、理論の習得のみでなく、現場での活用、応用までを視野に入れた、社会人にとって有用かつ受講しやすいコースです。

III-基礎編	ローコードツール活用ほか（全31講義）
III-実践編	PBL（全9講義）

IV. 潜在看護師キャリア支援コース

潜在看護師が、最新の看護知識や技術を再習得し、個々のライフスタイルやキャリア、働き方に合わせた看護の現場への復帰を目指します。

職場復帰に必要なスキルを再確認し、看護師としてのモチベーションを高めることを目指し、現代の医療・看護を取り巻く環境の変化に対応し、職場復帰後も成長できる基礎力を養うことを支援するコースです。

IV-基 1	看護実践の基礎（全18講義）
IV-基 2	看護技術演習（全16講義）
IV-基 3	臨地実習・まとめ（全6講義）

※ 各コースの詳細は、プログラムWEBページよりご確認ください。

プログラムWEBページ

<https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/fuzoku/recurrent/program>

4 各コースの概要

	I. 子ども才能 マネジメント	II. 旅館マネジ メント	III. しろのせき 地域DX人材育 成リスキリング	IV. 潜在看護師 キャリア支援
履修資格 ①	下関市立大学学則第18条の規定に準じて、本学の履修証明プログラムを履修することができる者			
履修資格 ②	—	—	—	看護師資格を有している者
履修期間	1年	1年	6か月	6か月
総時間数	60時間	60時間	60時間	60時間
受講料	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円
募集定員	2コースで40人程度		30人	20人

講習又は授業の方法	アクティブラーニング 対面、オンライン、VOD開講	対面、オンライン開講 臨地実習
実施体制	下関市立大学が主体となり、企業、団体及び地域医療機関と連携して実施	
修了要件	受講科目を全て履修済であること。	
履修証明	修了者には、下関市立大学学長から学校教育法第105条の規定に基づく「履修証明書」を交付する。	
単位の授与の有無	無し	
その他	履修資格①を満たしていない場合であっても、附属リカレント教育センターが行う個別の受講資格審査により認めた18歳以上の者に対して当該科目の受講を認める。ただし、履修証明書の交付は受けられない。	